



地域のみんなで「あさひっ子」を 守り育てる旭市に **地域学校協働活動**

旭市では、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を令和6年から全校に導入しました。

どのように活動を進めていくの？

各学校の様々な取り組み事例を紹介します。

シーン1 地域活性化



クリーン作戦（富浦小学校）

富浦小学校では、11月の学校運営協議会で学校内外の環境美化について活発な協議が行われ、コーディネーターの声かけにより、5年生22人と環境保全会メンバー12人による「富浦小クリーン作戦」が実施されました。

<ボランティア代表>

大人が捨てたごみを拾ってもらうのは申し訳ないが、みんなで地域をきれいにしていきたいと思います。

<児童>

予想以上のごみが集まり驚きました。これからは市のごみゼロ運動にも積極的に参加して、自分たちの住むまちをきれいにしていこうと思います。

<学級担任>

自分たちの育つ街がきれいで住みよい街になるように地域の方々と活動を共にして、交流を深めたいと考えました。ボランティアの方との会話が楽しかったと話す児童もあり、有意義な活動になりました。



浦賀神社式年神幸祭（矢指小学校）

「稚児舞」に応募した児童の校外活動に配慮するとともに、当日は全校で地域の伝統行事を見学しました。

あなたもボランティア活動に参加しませんか？

学校からのニーズを踏まえて、コーディネーターが学校とボランティアとの調整・連絡を行います

お問い合わせ先

旭市役所4階 旭市教育委員会 生涯学習課

Tel.0479-85-8627

mail: syakyo@city.asahi.lg.jp

令和7年4月発行

シーン2 地域交流



スカットボール（三川小学校）

三川小学校では、3・4年生と三川地区社会福祉協議会及び曽根区老人クラブの皆さんが5、6人ずつのグループを作ってスカットボールの対抗戦を行いました。

古城小学校や嚶鳴小学校でも同様の交流会が行われました。これらは学校運営協議会での話し合いを経て、実施されました。

校長：「挨拶ができる子」を本校の指導の重点に掲げていて、校外でも自然に挨拶ができる子を増やしていきたいのですが、地域の方にも協力いただけませんか。

委員1：まずは、子どもたちと顔見知りになることから始める必要がありますね。子どもたちと交流する場面を作ってはでしょうか。

委員2：スカットボールならルールも簡単で、初めての人でも気軽に楽しめると思います。老人クラブや社会福祉協議会にも呼び掛けてみましょう。

<児童>

最初はどんな話をしていかわからなかったけど、近所に住んでいるおばあさんと知って、家のことや近くの公園で遊んだことなどを話すことができて楽しかったです。

<ボランティア>

子どもたちから家や祖父母のことを聞くと、あそこのお子さんかと分かり、話が弾みました。子どもたちと一緒に活動すると本当に元気がもらえます。



遊びフェスタ（古城小学校）

地域の方々と様々な遊びを体験し、交流を深めました。

シーン3 学習支援



放課後学習支援（中央小学校）

<ボランティア>

学習活動の手助けになったと実感できました。また、子どもたちの成長が見られてよい経験になりました。

<児童>

ミシンの糸を絡ませるのに手こずっている時に手伝っていただき、とてもありがたかったです。

<担当教員>

調理実習にボランティアの方が入ってくださったおかげで、安心・安全に実施することができました。



中央小学校では、1回目の学校運営協議会で先生方に行ったアンケート（ニーズ調査）で、登下校の見守り、授業支援（家庭科）、学区探検補助、放課後学習支援のお手伝いをしてもらえると助かるという話題が校長先生からありました。

そこで「まずは保護者に呼び掛けてみましょう」と、コーディネーターが必要な支援の時期・予定日や内容を示してボランティアを募りました。



木工実習補助（海上中学校）

技術分野の授業では、木工加工の道具を安全に使うコツや匠の技を、地域のプロの方に教えていただきました。